

厚年基金の平成21年度(H22.3末) 決算の積立状況等 ~速報~

対象先	DB年金	厚年基金	適格年金	退職金	その他
内容	法令通知	財政運営	資産運用	会計基準	その他

ご参考に厚年基金以外のお客様にも送付させていただきます。

ポイント

厚年基金の平成21年度決算¹の速報値²を集計しましたので概要をご案内致します。

1. 継続基準の積立水準: 平均 1.10 (前年度平均 0.90) 23% (前年度 85%) が継続基準に抵触しました。
2. 非継続基準の積立水準: 平均 0.81 (前年度平均 0.68) 88% (前年度 99%) が非継続基準に抵触しました。

【当年度集計の概要】

期ズレ解消により継続基準の積立状況が大幅に改善³。

- 1 弊社総幹事の総合型厚生年金基金106基金の集計
- 2 平成21年度厚年本体利回りを7.5%(弊社推計値)として算出した速報値。確定値は8月下旬頃別途ご案内予定。
- 3 期ズレ解消のB/Sへの反映は21年度決算より(掛金計算へはH21.10.1以降を適用日とする掛金計算から反映)。

- ✓ 全厚年基金の分布とは傾向が異なり得る点についてご留意下さい。
- ✓ ご案内中の決算報告書から資産評価方法や許容繰越不足金等を変更することにより、代議員会で議決される決算結果が変更されることがあります。そのため、当ニュースが最終的な集計結果と大きく乖離する可能性がありますのでご留意下さい。

今回ご案内のデータ(次頁以降)

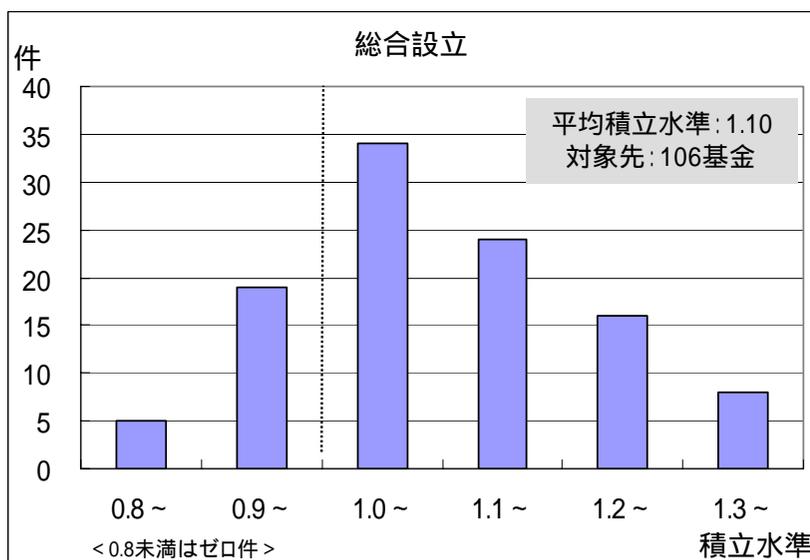
【集計】積立状況の分布表	…2/6頁
1. 継続基準の積立水準分布 (純資産額 + 許容繰越不足金) ÷ 責任準備金 等	…2/6頁
2. 非継続基準の積立水準分布 純資産額 ÷ Max(最低積立基準額 × 0.9、最低責任準備金 × 1.05) 等	…3/6頁
3. 成熟度に関する指標 加入者 / 受給者 給付額 / 掛金額	…5/6頁
4. その他の指標	…6/6頁

【集計】積立状況の分布表

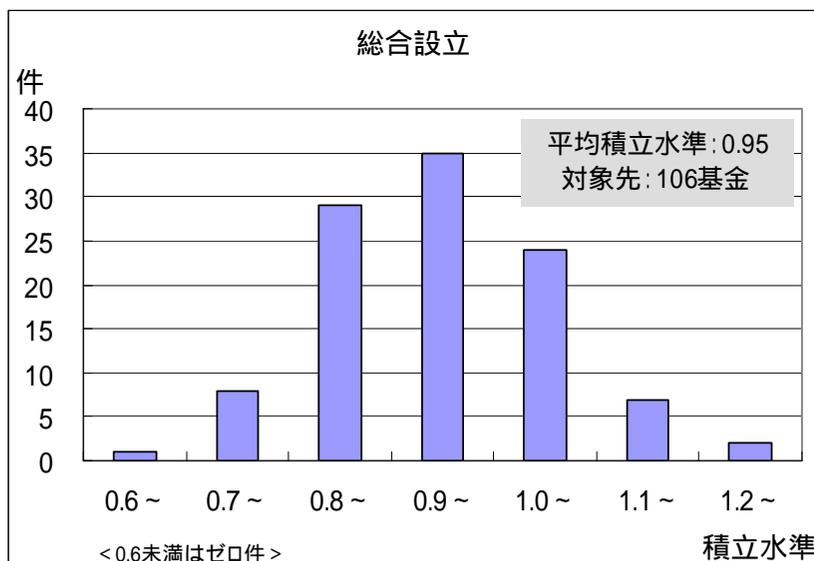
総合設立		件数 (割合)			
継続基準	非継続基準	充足	抵触	合計	
充足		13 (12.3%)	0 (0.0%)	13	(12.3%)
抵触		69 (65.1%)	24 (22.6%)	93	(87.7%)
合計		82 (77.4%)	24 (22.6%)	106	(100.0%)

1. 継続基準の積立水準分布

継続基準の積立水準 = (純資産額 + 許容繰越不足金) ÷ 責任準備金
 1.0未満の場合は責任準備金確保のための変更計算の実施が必要

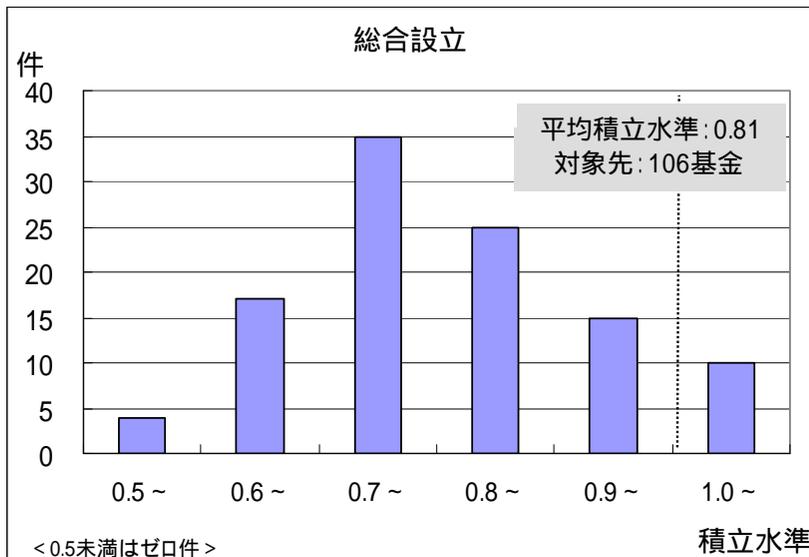


【ご参考】純資産/責任準備金



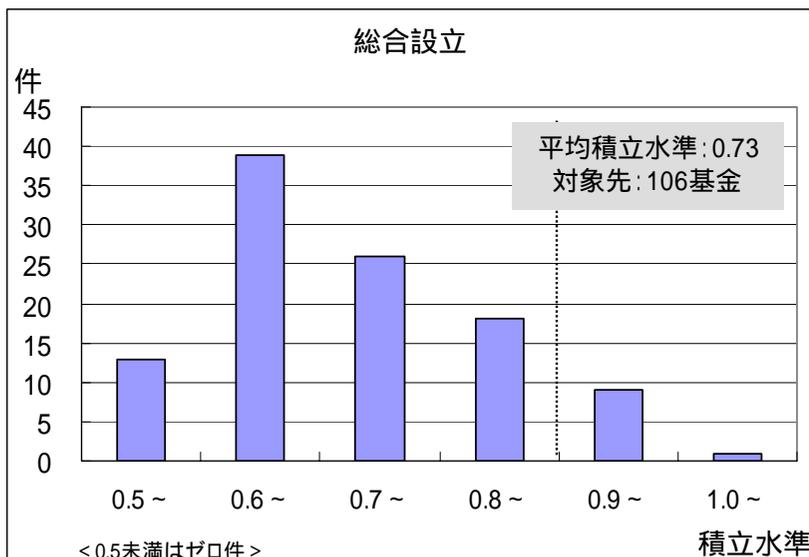
2. 非継続基準の積立水準分布

非継続基準の積立水準 = 純資産額 ÷ Max(最低積立基準額 × 0.9、最低責任準備金 × 1.05)
当該積立水準が1.0未満の場合が非継続基準に抵触

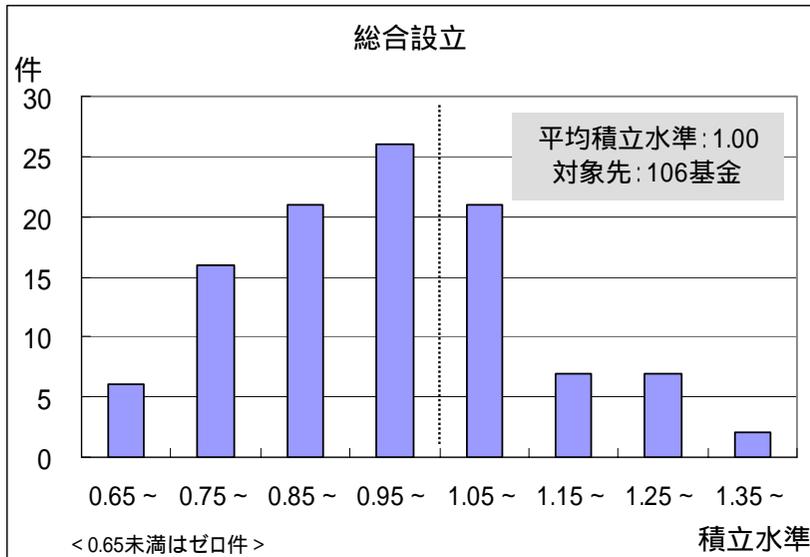


抵触した場合は、回復計画の策定が必要(回復計画が自然回復となれば、追加拋出の必要はない)
ただし最低積立基準額 × 0.9の部分については、当年度の非継続の積立水準が0.8以上で、前事業年度以前の3事業年度のうち少なくとも2事業年度において0.9以上かつ最低責任準備金比1.05以上であれば充足(下図ご参照、財政運営基準第四1(3)カ(ア))

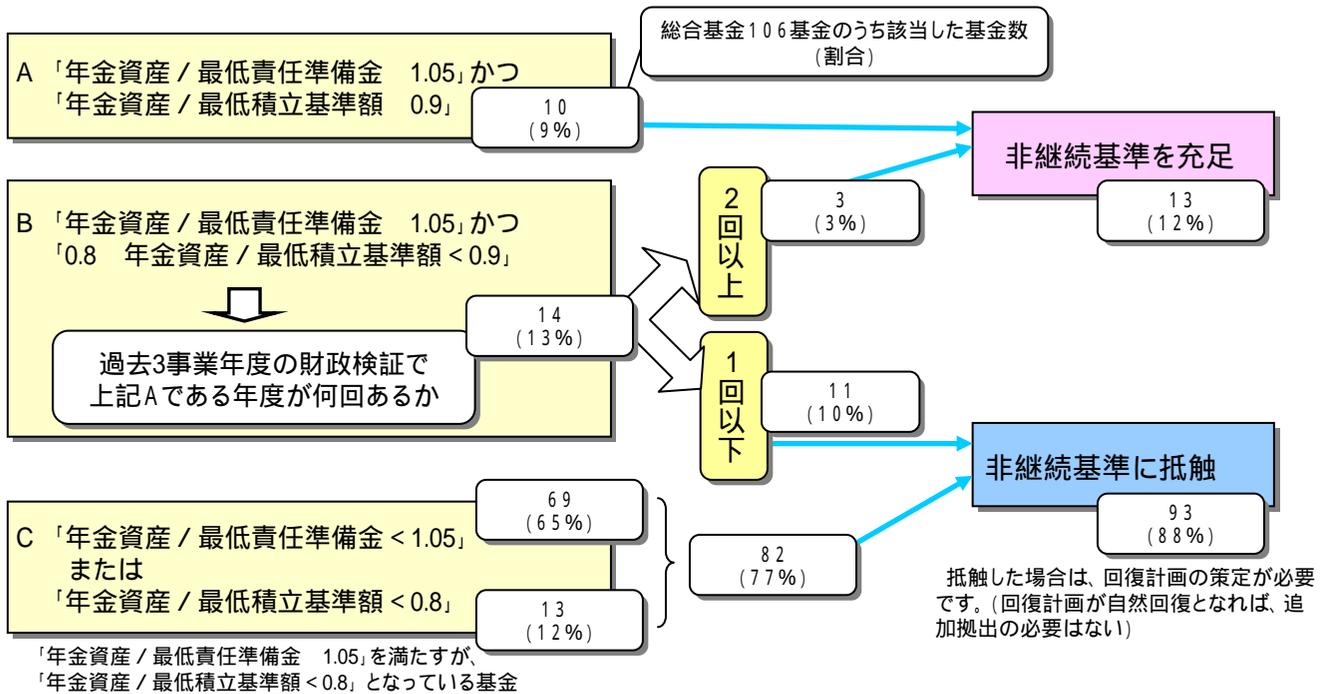
ご参考 純資産 / 最低積立基準額



ご参考 純資産 / 最低責任準備金

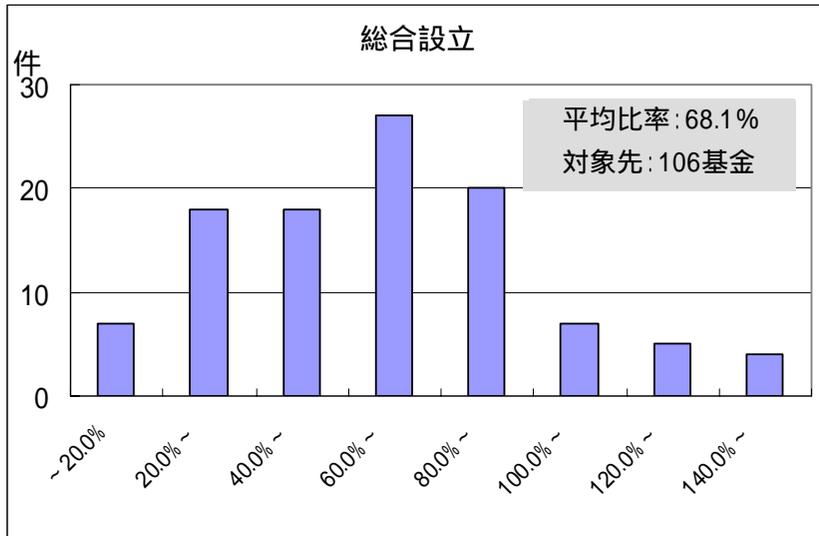


ご参考 非継続基準の判定

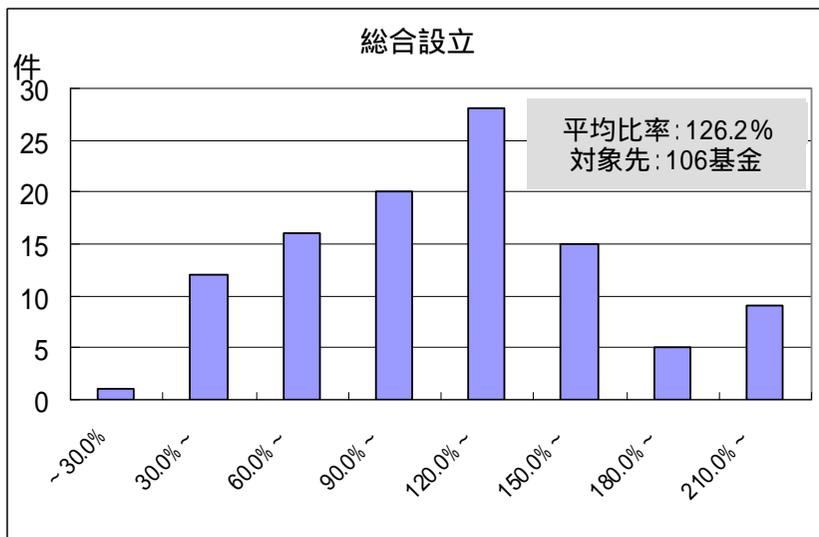


3. 成熟度に関する指標

受給者 / 加入者



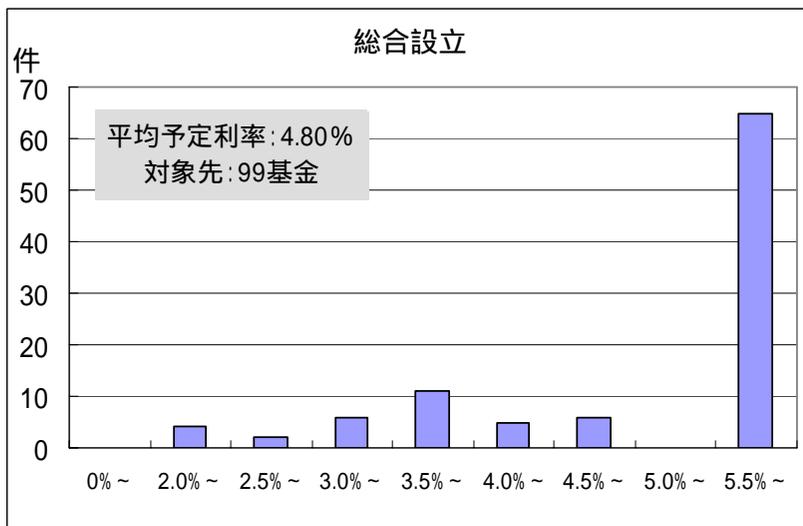
給付額 / 掛金額



4. その他の指標

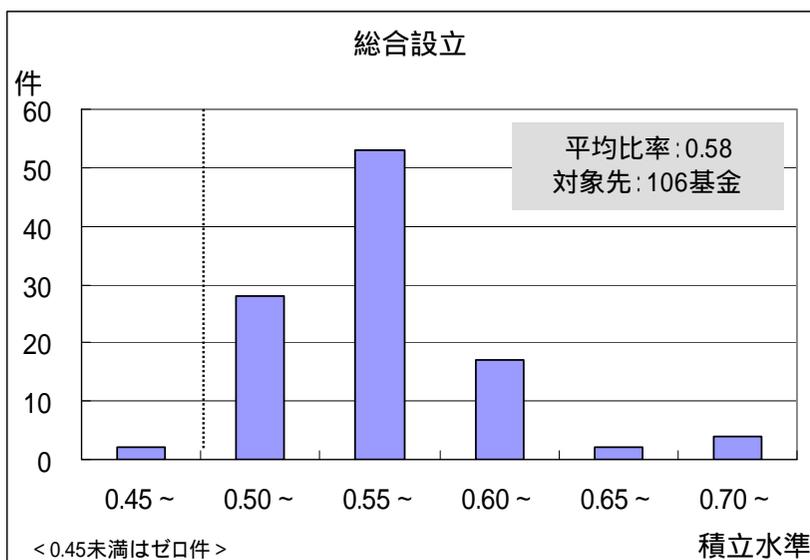
加算部分の予定利率(継続基準)

加算型基金99基金の集計



最低責任準備金 / 過去期間代行給付現価

最低責任準備金が過去期間代行給付現価の1/2を下回った場合、政府から負担金(給付現価負担金)が交付されます。



資産評価方法

時価評価	数理的評価	合計
49 (46.2%)	57 (53.8%)	106 (100.0%)

件数 (割合)

以上